

まつかぜ

県立薩南病院南さつま市加世田村原4丁目11番地 電話：0993-53-5300 <http://hospital.pref.kagoshima.jp/satsunan/>



- 新・薩南病院
～移転を振り返って～
- 医師紹介
小児科医師
産婦人科医師



- ずっとみやったもんせ
屋外練習場（リハビリ）
- 縁の下の力持ち
院内保育所
- 部署紹介
3階病棟（産婦人科）



- イベント活動
- 知って得する医療情報
『話題にしにくい事』
- 編集後記
- 外来診療担当医一覧



新・薩南病院

― 移転を振り返って ―

皆さん、こんにちは。薩南病院事務長の森と申します。

おかげさまで、新しい病院に移転して、4ヶ月が経とうとしています。順風満帆というわけにはいきませんが、無事にスタートを切ることができました。

今回は、新しい病院への移転後で最初の発行ということで、新病院の構想段階から携わって足かけ6年の私から『移転を振り返って』少しお話しさせていただきます。

薩南病院の建替えは、平成23年3月に策定した「県立病院事業中期事業計画」まで遡ります。その後、平成26年に『薩南病院あり方検討委員会』を設置し、平成28年3月に同委員会から提言がありました。

その内容の軸は、病院機能として「小児科の再開と産婦人科の新設が必要」である事、建物整備については「医師の確保など新たな診療科等の開設の見通しが立った時点で改めて検討」というものでした。

それから約1年、足踏み状態が続きましたが、鹿児島大学からの医師派遣の調整が可能となったことから、平成30年9月の県議会で、当時の知事が「薩南病院の建替えの必



事務長 森 裕司

元新病院整備班責任者として、新築計画から工事・開院までを担当

要性につきました。これまで議論を重ねてきておりますので、来年度、基本構想の検討に入りたいと思っております。」と答弁され、本格的にプロジェクトがスタートしました。

令和に入り、5月から4回開催した「新薩南病院基本構想策定委員会」を皮切りに、いよいよ具体的に動いている訳ですが、今回の建替えについては、「3K」がキーワードになりましたので、これらを中心に話を進めます。

一つ目の「K」は、「建設地」です。建設地については、同委員会での最重要課題とされました。交通の利便性や今後の経営を考慮し、南さつま市の2カ所、南九州市の2カ所を候補地と

して検討を始めました。委員会には、地元3市の副市長さんや住民代表の方々にもご参加いただき、委員視察も通して、厳しいご意見をいただきました。また、旧病院の近隣の皆様からは「現地建替の要望書」もいただく等、それぞれのお立場で県病院のあり方について真剣にご検討いただきました。改めて、県民の皆様大切にされている病院だと再認識しました。最終的には、旧病院からの病院機能の継続性などの観点から、現在の南さつま市加世田村原に決定しましたが、建設地が決まった瞬間は、開院の日を迎える以上に安堵したことを記憶しています。

令和2年1月に同委員会の「新薩南病院基本計画」策定を元に、設計業者の決定、同年8月に基本設計が、翌令和3年5月に実施設計が完成しました。因みに、令和2年は、新型コロナウイルスが猛威を振るいはじめた頃で、設計業者もなかなか来院できず、慣れない「オンライン会議」に悪戦苦闘したことを思い出します。

「良い病院にしたい」との思いから、各部署の医療スタッフも日々の診療や看護の合間をぬって慣れない図面のチェックに奮闘してくれました。結果的に設計業者とは、毎週の打ち合わせの度に、かなりの数に及ぶ変更を行いました。

実施設計の完成を受け、工事開始を迎えた令和3年9月、本県が「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の対象地区として行動制限がかなり、予定されていた起工式・安全祈

願式は延期を繰り返し、『二度目の正直』で一月遅れの10月18日に執り行いました。

二つ目の「K」は「工事費」です。

新病院は、災害拠点病院としての機能を果たすための「免震構造」、「ヘリポートを設置」等、ある程度のコスト高は想定しておりましたが、ここでも、新型コロナウイルスの影響、更にロシアのウクライナ侵攻による「物価高騰」の大きな影響を受けることになりました。特に、鉄骨をはじめとする建設資材は高騰を続け、入札時点の単価では到底対応できないという事態が発生しました。コストダウンを設計業者や施工業者から提案いただくなどし、特に施工業者には可能な限りの協力をいただきました。毎日のように「もう少しどうにかできないものか。何か策はないか。」と自問自答していましたが、今でもそう思えてなりません。

そして最後の「K」は「開院日」です。

実は、基本構想では「令和4年度中の開院を目指す」としていました。

実際に、実施設計が完成し、建設工事の入札を終えた頃までは、竣工引渡しは令和5年1月末で、2ヶ月で医療機器搬入・引っ越し・スタッフの準備期間を想定し、令和4年度中の開院を目指してい



旧病院から新病院への患者さん移送訓練の様子です。全職員が一丸となって安全・安心な移送手段を検討しました。因みに患者さん役は私です。

この工期延長を考慮すると、開院時期は「令和5年7月」となってしまう。新しい病院への期待を裏切らないためにも、一日も早い開院が望まれます。また、県議会などで「ゴールデンウィーク明けの開院を目指す」ことを公表していましたが、これを実現するために我々整備

班には、4つのノルマを達成していく必要性がありました。1つ目は、「4月末には竣工引渡しを達成する」こと。施工業者の方々には、とにかく「工期・開院」を口にしていました。整備班と業者側の互いの調整がつかずに、何度となく衝突もしました。業者の方々は本当に難渋されたと思います。彼らが努力してくれている姿を通して、「敵対してはダメ。信頼関係を築かなくては。」と我に返りました。どんな仕事でも一人で成し遂げることはできません。沢山の方の協力が必要なのです。その後は整備班と業者間で何度もコミュニケーションを図り、日に日に信頼関係が構築されてきた気がします。施工業者の皆さんも本当に大変だったでしょうが、職人魂を遺憾なく発揮し、協力いただき、4月28日の竣工引渡しを何とか成し遂げてくれました。

2点目のノルマは、「医療機器を効率よく搬入すること」。医療機器については、仕様の検討から搬入までを医療コンサル業者を通して、「ゴールデンウィーク中に搬入完了」をお願いしていました。難しい宿題でしたが、機器メーカーや施工業者の協力もいただきながら、何とか成し遂げてくれました。3点目のノルマは、「引っ越しを効率よく行う」こと。引っ越しや移転計画については、プロジェクトチームを編成して、検討を加えることが一般的なようですが、ここをカットし、通常業務に支障を来さぬよう、全般的に整備班と移転業者と

協議し、必要に応じてスタッフの協力をもらったり、やり方で進めました。移転業者はさすがにプロですが、スケジュールを細かく調整し、ゴールデンウィーク中に集中的に作業を行い、夜までかかった日も多かったですし、想定よりも荷物の量が多かったこともありましたが、こちらも何とか成し遂げてくれました。

引っ越しの期間、開院までに新病院には警備員がいませんでしたので、整備班員は仕事帰りに夜の消灯確認に歩き回り、万歩計は毎日1万5千歩以上を示していました。そして4点目のノルマは、「スタッフの協力」です。一般的には、新しい病院での動線確認や新しい医療機器の使用方法、引っ越しと最低1〜2ヶ月は準備期間にかかると言われていますが、医療スタッフの皆さんに「ゴールデンウィーク明けの開院を目指す」ことを伝えて協力をお願いし、引渡し前の院内の見学や移転説明会も何度か開催しました。年末くらいまではあまり動きが見られなかった荷造りも、移転の日が近づくと本格的に始まりました。ゴールデンウィーク中の5月5日（金）には、知事や来賓、設計・施工業者、病院スタッフなど約百名が参加し、「県立薩南病院開院記念式典」を無事に終えました。また、入院患者さんの移送を5月6日（土）に行いましたが、これまで2回のリハーサルから本番まで、一致団結してくれている姿に感激しましたし、事故なく無事に成し遂げてくれました。

ざっと振り返ってみました。当然のことながら私一人で成し遂げられるものは何もなく、地域住民の皆様はもちろんのこと、設計業者、施工業者、医療コンサル、そして新薩南病院整備班の2人の担当をはじめ全スタッフの協力があったからこそプロジェクト達成だったと思っています。私ができることと言えば「籠（たが）をゆるめなかった」ことくらいでしょうか。最後になりますが、移転後すぐは「迷路」と言われたこの病院にも、患者さん、スタッフとも少しずつ慣れてきてきているのではないかと思っています。まだまだ改善すべき点、今後の経営など課題山積ですが、お産も始まり、新しい病院が何とか動き出したことを実感する今日この頃です。

開院記念式典では県知事、市長をはじめ多くの方に参加をいただきました。



開院記念式典では県知事、市長をはじめ多くの方に参加をいただきました。

くにけれ本格化しはじめ、ゴールデンウィーク中の移転・引っ越しにあわせて、休みを惜しまず準備する姿を何度も見かけ、頭が下がりました。少し心配していましたが、こちらも何とか成し遂げてくれました。ゴールデンウィーク中の5月5日（金）には、知事や来賓、設計・施工業者、病院スタッフなど約百名が参加し、「県立薩南病院開院記念式典」を無事に終えました。また、入院患者さんの移送を5月6日（土）に行いましたが、これまで2回のリハーサルから本番まで、一致団結してくれている姿に感激しましたし、事故なく無事に成し遂げてくれました。

ざっと振り返ってみました。当然のことながら私一人で成し遂げられるものは何もなく、地域住民の皆様はもちろんのこと、設計業者、施工業者、医療コンサル、そして新薩南病院整備班の2人の担当をはじめ全スタッフの協力があったからこそプロジェクト達成だったと思っています。私ができることと言えば「籠（たが）をゆるめなかった」ことくらいでしょうか。最後になりますが、移転後すぐは「迷路」と言われたこの病院にも、患者さん、スタッフとも少しずつ慣れてきてきているのではないかと思っています。まだまだ改善すべき点、今後の経営など課題山積ですが、お産も始まり、新しい病院が何とか動き出したことを実感する今日この頃です。

開院記念式典では県知事、市長をはじめ多くの方に参加をいただきました。



熱性けいれん について



みなさま、初めまして。2007年から長い休み期間を経て、2023年4月に奇跡の復活を果たした小児科です。旧病院では、16年間大切に保管されていた小児蘇生セットや歴史的価値がありそうな古い小児関連の教科書などを拝見し、小児科の空白期間をしみじみ感じていました。そのようなブランクのある小児科ですが、再開後は職員の皆様のご厚意とサポートのおかげで大きなトラブルなく診療できております。

さて、今回は小児救急でよく遭遇する疾患についてお伝えしようと思います。

「熱性けいれん」という病気をご存知でしょうか？「熱性けいれん」とは主に「生後6〜60か月までの乳幼児に起こり、通常は38℃以上の発熱に伴う発作性疾患」と定義され、そのほかの明らかなけいれん発作の原因がみられないものです。単純型と複雑型と2種類に分かれており、その定義はありますが、簡単に言うと頻度の高いのは単純型で、左右対称にけいれんしますが5分間程度で自然頓挫することが特徴です。

子どもがけいれんすると、慌てて救急車を呼ばれるケースが多いのですが、前述のようにほとんどが単純型なので救急隊が到着する頃にはけいれんは止まっていることが多いです。熱性けいれんの予防薬としては『ダイアゾリン』という座薬があります。

「熱性けいれん以外でも、子供に関することでご質問などあればいつでもご相談ください。小児科は私と松永愛香医師の二人体制であり、当院で出生した新生児以外の時間外診療は制限させていただきます。ご不便やお悩みがございましたら、ぜひお気軽に申し上げます。

「熱性けいれん」は1回使用し、その8時間度にもう一度挿入し、けいれんを予防します。



小児科部長 久保田 洋知

子どもがけいれんすると、慌てて救急車を呼ばれるケースが多いのですが、前述のようにほとんどが単純型なので救急隊が到着する頃にはけいれんは止まっていることが多いです。熱性けいれんの予防薬としては『ダイアゾリン』という座薬があります。



松永小児科医師と小児科スタッフです。

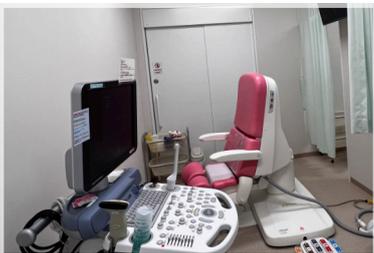
子宮頸がん予防について



産婦人科部長 福田 美香

薩南病院産婦人科は令和5年5月に新規開設され、7月初旬、ようやく最初の出産がありました。月々十数名の出産予定があります。産婦人科医師は3名が在籍しております。お母さんが元気な赤ちゃんを安全に出産できる環境作りに努めております。また、骨盤臓器脱や子宮体癌、卵巣癌などの悪性腫瘍の手術も行っております。

今回は、最近お問い合わせが増えている子宮頸がんワクチンについて述べます。子宮頸がんは若い世代の女性のがんの中で多くを占めます。患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までに治療により妊娠できなくな



産婦人科外来では助産師も在籍しており、相談にも速やかに対応できます。

る人は、年間約1000人います。年間約1.1万人の女性が罹患しています。具体的には70人に1人くらいが一生のうち子宮頸がんにかかるといわれています。子宮頸がんはほとんどがヒトパピローマウイルス(HPV)という感染で生じることが分かっています。HPVは女性の多くが生涯に一度は感染すると言われているウイルスです。感染してもほとんどの人ではウイルスが自然に消えますが、一部の人ががんになってしまふことがあります。日本では、小学6年から高校1年相当の女子を対象に公費でのHPV接種を提供しています。また平成25年から令和3年の積極的勧奨が差し控えられていた期間に、接種の対象であった方々の中で、接種機会を逃した方も公費での接種が可能です。ワクチン接種後は、接種部位の痛みや腫れ、赤みが起こることがあります。非常に稀にアレルギー症状、神経系の症状が起こることがありますが、接種前に担当医師の十分な説明があります。HPVワクチン接種を公費助成による国のプログラムとして2006年頃より取り入れたオーストラリア、英国、米国、北欧などの国々において接種率は8割以上であり、ワクチン接種世代のHPV感染率の劇的な減少が報告されています。オーストラリアでは子宮頸がんは2020年に稀ながんとなり、2028年には撲滅できると推察されています。この機会に対象の方や保護者の方はワクチン接種をご検討ください。



いっ
と
み
や
っ
た
も
ん
せ

屋外の練習場

リハビリ室

新病院へ移転後、リハビリテーション室には屋外での練習場が新設されました。旧病院では、松林の中やコンクリート上を歩く屋外練習を行っていましたが、現在は屋外練習場で屋外での歩行や階段の昇り降り等を練習しています。また、車椅子のままでも屋外に出れる事もあり、日光浴で気分転換や刺激の入力も図れています。そして、患者さんの中に



は畑作業やガーデニングを趣味に持たれている方が多くいらっしゃいます。入院中は、趣味活動を継続する事が難しく、楽しみや役割が減ってしまう事も事実です。入院中でも趣味活動を継続したり、リハビリに来る楽しみの一つとして、屋外練習場に小さい畑・プランターを準備しました。まだ開始したばかりですが、「オクラが大きく



るのが楽しみ「畑を見に行くのが」等の声を頂いております。少しでもリハビリ室にきたいという原動力になってもらえると嬉しく思います。これからもリハビリテーションを通して、笑顔で元の生活に戻れる様に最善を尽くしたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



新薩南病院に新しく設置された薩南病院院内保育所について紹介します。保育所では、病院職員のお子さんで、1歳くらいから3歳までの乳幼児をお預かりしており、時間は午前8時から午後6時までです。保育所内には、保育室・乳児室・前室・調理室その他、幼児用トイレやシャワー・洗濯室も完備しています。現在、4名の保育士が、常時2名体制で勤務し、保護者の皆様が安心してお子さんを預けて働けるように、怪我や毎日の体調に気をつけながら

院内保育所



縁
の
下
の
力
持

薩南病院は多職種の方の力で成り立っています。今回は『院内保育所』の皆さんにお話を伺いました。

保育にあたっては、また、子どもたちは、手足口病やヘルパンギーナなどの感染症にもかかりやすいので、室内やおもちゃの消毒をこまめに行い、常に清潔に保つことを心がけて、感染予防にも努めています。

通所している子どもたちは、朝、笑顔でお母さんと「バイバイ」「いってらっしゃい」ができるようになってきました。

皆、朝の会で季節の歌を歌ったり、すべり台やままごと、積み木、パズル、



天気の良い日は、テラスで砂遊びや水遊びを楽しんだり、近くの公園で走り回ったりもしています。一人ひとりとじっくり関われることを喜びとして、これからは子どもたちの笑顔がたくさん見られるように頑張っていきたいと思えます。



3階病棟（産婦人科）

3階病棟 助産師
あくね さとみ
阿久根 里美

地元で安心して出産
ができるよう、私たち
頑張ります！



薩南病院開院初めてのベビーとな
る田村ベビーちゃんとお母さん

2023年7月7日0時0
1分に薩南病院開設して初
めての3,310gの男児
が無事誕生しました！
私たちが産婦人科は、今年
4月より助産師9名が赴任
、うち一名が新規採用さ
れ、5月に福田先生、河村

先生を迎え産婦人科外
来が開設・スタートし
ました。
産婦人科新設にあた
り期待と緊張が入り混
じり中、内科・産婦人
科・小児科の先生方や
病棟スタッフ、産・人
科・内科外来など各関
係部署の協力のもと、
病棟・外来業務を兼務
しながら産科・分娩シ
ミュレーションを並行
して行い今日まで準備
をしてきました。
7月に入ると中林先
生も加わり、当院での
初めての分娩・新生児
の取り扱いがいつの日
になるのか緊張する日
々が続きました。私
たちの心配を吹き飛ば
す産婦さんのスムーズ
なお産に助けられ、無
事に元気な産声を上げ
てくれました。また当
科は内科・小児科との
混合病棟であり、患者
様の中には子どもの声
を聞き、「生きてる感
じがするね。」「昔、
この小児科に子ども
がお世話になってね、
思い出すよ。ここから

新しい命が生まれるんだ
ね。」など厳しい闘病生
活を過ごされている患者
様からうれしいお言葉も
聞くことができました。
まだまだ、慌ただしい
状況が続いておりますが、
当院での分娩を希望
される問い合わせも増え
ております。当院で安心
・安全なお産をしていた
だけるように関係部署と
密に連携し、南薩地域で
の周産期体制を構築して
いきたいと思ます。今後
ともご協力お願いしま
す！



多職種での出産シュミレーションの様子。ちな
み妊婦さん役は病棟師長さんです。



イベント活動報告



市役所の方の御指導を受けて患者さん
と職員もメッセージを残しています。



砂像作り
毎回、市役所に御協力を
いただき、病院正面玄
関に砂像を設置していま
す。今回のモデルはメジ
ヤリーグの大谷選手と
新病院のヘリポート写
真、当院のゆるキャラの
さつニヤンでした。病院
患者さんにも協力をして
いただき、メッセージ
などを彫っていただいで
います。ぜひ、御来院の
際に砂像を見てみて下さ
い。

産科の新規開設にあたり、
いろいろと制約のあるなか
で、お子様が直接、肌につれ
るものについて
は、少しでも品質
のよいものを探
していただくこ
ろ、機会を得まし
て、当院の今期の調達分につ
いては、こちらの商品を採用
することとなりました。
関係機関の皆様、特段のご
配慮をいただきました。あり
かとうございました。
お子様のおくるみ以外に
も、今期において
は、お母様の検
診用の肌掛けに
も採用させてい
ただいております。



皆様、こ
のマークに
見覚えは
ないでし
ようか。
白丸に赤
の縁取り、下
添えられている青の3本のラ
イン、そう、その品質の高さ
から各方面で高い評価を得て
いるあのタオルブランドで
す。

おくるみ

話題にしにくい事

地域連携室



精神保健福祉士 藤田 剛
ふじた つよ

『終活』という言葉がよく言われるようになりました。終活とは「人生の終わりのための活動」です。人間が自らの死を意識して、人生の最期を迎えるための様々な準備や、そこに向けた人生の総括を意味する言葉です。

日本人の平均寿命は男性81.47歳、女性87.57歳となり、世界的にみても長所ですが、『終活』は、何も高齢者だけの話ではありません。日本人が一生のうちにかんと診断される(がん)に罹患する確率は、男性65.5%(2人に1人)、女性51.2%(2人に1人)といわれ、働き盛りの30代や40代でも診断される患者さんはいらっしやいます。また、交通事故に遭う確率は約0.2%、交通事故を起こす確率は約0.4%です。年間309,178件

もの交通事故が発生している、約500人に1人が交通事故の被害者となり、約250人に1人が交通事故の加害者となっています。いつ、自分の人生を終えるかわからない事態に備えて、終活を始める年齢は「早ければ早いほど良い」とよく言われます。また、体力・気力が充実しているうちに、より計画的に準備を進められますし、自らの人生において理想的な終末期を迎えるためには、しっかり時間をかける必要があります。

・病気により介護が必要になった場合、誰にしてみらいたいのか。介護保険の有効期限はいつまでだったか。認定まで1か月かかるので、万が一に備えて更新しておかなくていいのか。かかりつけの病院をどこにして、どのように通院するのか、延命治療を望むかどうか。

・自分が病気や障害を負って介護が必要になった際、終の住まいは自宅を選ぶか施設を選ぶか。

・保険はどこのか、会社にどのくらいかけるのか、医療保険や生命保険を見直す

・事故に遭って脳死状態にな

った場合、臓器提供を望むのかどうか

・終活に必要な費用や老後の資金を試算する。死後、誰にいくら残すか決めておく

・貴重品の保管場所や方法を決める。

・・・・などなど、あげればきりがありませんが、人間の死亡率は100%なので、「もしも」をいつかは考えるときが来ます。

実際、入院された患者様からしばしばこういった相談があります。本人がどんな希望があつてご家族がどのような思いや支援が可能なのか、社会資源はどのようなものがいつから活用できるのかを地域医療連携室内で検討し支援しています。この他にも様々な相談に対して、家族・医療機関・介護施設・居宅介護支援事業所・訪問看護事業所をはじめ、行政や福祉に関わる多くの施設や人をつなぎながら、地域での生活をみんなと一緒に考えていきますので、何かご相談がありましたらお気軽にお声掛けください。

備えは大事



編 集 後 記

奄美大島から加世田に異動し早4か月が経ち、こちらの夏もまた暑いなど感じます。酷暑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回のまつかぜは2023年度新病院特集号と題してお送りいたしました。私自身、今年度4月にこちらに来て早々5月に移転という流れでしたので戸惑うことも多々ありましたが、やはり新しくきれいな病院を歩くことと自然と背筋が伸びます。また、森事務長の新・薩南病院完成までの道のりを読むと新型コロナウイルスが蔓延する中、多くの葛藤や困難があつたことを知り、一層新病院で働けることに感謝の意を持ちました。

そして、嬉しい話題として、2023年7月7日、新南病院で初めてのお産があり、元気な男の子が無事に誕生いたしました。新しい生命の誕生に周りの患者様からも温かい言葉をいただいたという事で、これからも薩南病院に笑顔の連鎖が広がることを願います。

新規開設された産婦人科、およそ16年ぶりに再び開設された小児科の先生

方のご挨拶もありました。豊富な知識をもつ先生方が薩南病院に来てくださり心強い限りです。

リハビリ室が利用している屋外練習場には私も行ってみました。見晴らしがよく晴れやかな気持ちになりました。また、院内保育所の紹介では、保育士の方の気配りを知り、患者様だけでなく、我々医療従事者もいろんな方々に支えていただけて働くことができているのだなと感じました。

そして、藤田精神保健福祉士の書かれた終活の記事は、つつい先延ばしにしてしまいたくなるような事と今のうちにきちんと向き合うことの大切さを改めて考えました。

新病院になり、どこに何科があるのかも分からず困った患者様もきつといたかと思えます。薩南病院に来てよかったと思っただけから精進いたします。

で、どうぞよろしくお願いたします。

臨床工学士

古屋



外来診療担当医一覧

令和5年8月1日現在

診療科	職名	氏名	月	火	水	木	金
外科	院長	三枝 伸二	○	○		○	○
内科	副院長(兼)内科部長	大橋 保	○		○	○	
外科	副院長(兼)外科部長	青木 大	○	○		○	○
内科	総合診療科部長	田中 裕之	○		(緩和ケア外来)		○
	医長	矢野 華子		○ (隔週)	○		○
	医長	藤崎 真由	○	○ (隔週)		○	
	医務技師	西園 馨子		○		○	
消化器内科	消化器内科部長	指宿 和成	○		検査のため 午前から休診	○	
	医長	嶋田 淳之介		○			○
循環器内科	循環器内科部長	楠元 啓介		○	○	○	
	医長	東 大智	○		心筋シンチ	○	
	医務技師	野崎 圭吾		○	心筋シンチ		○
	医務技師	藤崎 祐登	○		心筋シンチ		○
外科	消化器外科部長	安藤 慶	○	○	手術のため 午前から休診	○	○
	医長	下村 寛貴	○	○		○	○
	病院事業管理者	福元 俊孝					
放射線科	部長	原田 治	○	○	○	○	○
	非常勤	神崎 史子			○		
	非常勤	仮屋 佳祐					午後 (放射線治療)
小児科	小児科部長	久保田 知洋	○		○		○
	医長	松永 愛香		○		○	
産婦人科	産婦人科部長	福田 美香	○		○		○
	医長	河村 俊彦	○		○	手術のため 午前から休診	○
	医務技師	中林 舞	○		○		○
特殊外来 (予約制)	糖尿病外来 (非常勤)	竹之内 和則	毎月第2金曜日				
		藤崎 知園子	毎月第3金曜日				
		小濱 木の実	毎週火曜日午前				
	肝臓病外来	豊留 亜衣	毎月第1水曜日				
		谷山 央樹	毎月第3水曜日				
	ペースメーカー外来	循環器内科	毎週金曜日午後				
	緩和ケア外来	田中 裕之	毎週水曜日午後				
	緩和ケア外来 (精神腫瘍医)	始良病院から	毎月第4水曜日午後				
	乳腺外来	新田 吉陽	毎月第2・4木曜日, 第1・3木曜日午後				
		江口 裕可					
佐保 葉月							
呼吸器外科外来	西島 浩雄	毎月第1・3木曜日					
禁煙外来	田中 裕之	予約制					

空欄の日は病棟勤務, 検査などです。

医師の診療日は急患対応や学会などの用務で変更になる場合があります。